とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年９月

1，活動テーマ

＜テーマ＞

５歳児「空を見てみよう」~「雲と天気」の関係について~

＜テーマ設定理由＞

午睡前、黒い雲が出て急に豪雨になった。黒い雲と白い雲があることに気が付き「雲」について関心を持っていた

2，活動スケジュール

気になる雲を観察し、写真を撮ってみる。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

iPhone、雲に関する本を図書館から借りてくる。

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

毎日変わる雲の様子を見てiPhoneで撮影し、観察する。雲の形、流れを見てみる。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

「黒い雲は雨が降る」「風が少しあるから雨が降るな」と雲を見て友達と話している。その後雨が降ると「やっぱり」と言う。
雨が「川になってる」砂場に水がたまり「プールみたい」と言う。雷が鳴っていたが止んで雨だけになると「雨が勝った」と言う。（雨対雷で雷が負けて雨が勝ったと言う意味だった。）

雲がないところが「猫の形」と言っていたが見ていると流れて形が「変わってしまった」と気が付いた。どうして流れるか聞いてみると「風があるから」と理解している。

うろこ雲がきれいだと思って写真に撮る子が多い。

飛行機雲を見つけ空を見ていると雲の中の飛行機雲にも気が付く。雲が二重にできることにも気が付いた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

夏の梅干し，赤紫蘇作りの経験を通して雲や天気への関心は続いている。夏休みで高い山に行き「雲を触った」「雲は霧だから」と家族に教えてもらう子もいた。逆に「雲に乗りたい」「雲を食べたい」など抽象的に理解している子も多く理解に個人差が大きい気がした。黒い雲は雨が降りやすいことはみんなが理解しているようだった。「うろこ雲」と雲にも名前があることを知っている子もいる。